

大いちょう

令和6年6月4日
岐阜市立加納幼稚園
園長 藤井 佐由美

幼稚園説明会にご参加、または託児ボランティアのご協力ありがとうございました！

5月24日（金）に「幼稚園説明会」を実施しました。この説明会は保護者にとって、我が子の（ほとんどの子が）初めての集団生活を定める大切な節目の機会になります。

私は、加納幼稚園の魅力を中心に、「どんな幼児期を過ごすことが大切であるのか」、「子どものどんな力を伸ばそうとするものなのか」を、深くご理解いただけるような説明に力を入れてプレゼンを作成しました。

どうしても一般的には「教育は小学校から始まるもので、乳幼児期はサービスが重要視」される時代において、教育の質のみを訴えていくのは、やや社会の動きとは逆のベクトルをとります。しかし、「三つ子の魂百まで」と言われるように、乳幼児期こそ「どんな時を過ごすのか」が、今まさに問われているのです。（*補足すると、私は、幼児期に育まれた人格は、あくまでも基礎であり、その後の環境や出会う人によって変わるものと思います。でも、幼児期に感じた思いや、感性の一部分はやはり残っていくのではと考えています。）

特に平成から令和に入って、学校教育も大きく見直しがされています。これまでの教育のように、全ての子どもを同じ時に同じペースで、同じ場所で、同じ目線で、一斉に進めようとする教育は、もはや限界があるのではと問い直されています。もちろん、一斉に行った方がより学びやすい教科もあります。でも、子ども達が、自分たちでやりたいことや課題を見つけて、子ども達の考えややり方で進められる学びもあります。

岐阜市は、水川教育長の温かで熱い思いの下、一丸となって、「あなたには価値があると365日伝え続ける学校⇒生命の尊厳」に重点を置き、「今日が楽しく、明日もまた来たいと思える学校」を目指し、細やかな施策や方途が示され、実践されてきています。特に令和5年度から始まった「岐阜市を学び“生きる”をつくる探究学習『ぎふMIRAI's』の推進」は、とてもワクワクするもので、岐阜市の「人・もの・こと」から、岐阜市について深く知り、自らかかわることで、自分の生き方を創り出す学習を進めています。リアルな学びにこだわり、様々な方面の専門家等と繋がるぎふMIRAI'sチャンネルやぎふMIRAI'sライブラリがあり、各学校の地域性に応じて展開されています。

でも、ここでふと気付くことがあります。「あれっ？この教育って、岐阜市の公立幼稚園がやってきている教育だよね・・・」ということです。特に、令和3年度からは、岐阜市立幼稚園の研究テーマを「探究心と創造力を育む幼児教育」として、子どもの興味・関心に寄り添い、それを深め、広げる教育実践を展開しています。これは、まさに、「ぎふMIRAI's」で取り組もうとしている方向性と一致します。

その裏付けとして、毎年複数回、大学や小学校、保育所などから、「岐阜市立幼稚園の実践を話してほしい」と私のもとに講演依頼があります。つまり、乳幼児、児童、生徒全てにおいて、「探究心と創造力を育む教育」を目指しているということです。そして、「探究心と創造力を育む教育」の第1歩は、自己選択・自己決定であると考えます。そのため、加納幼稚園では、遊びの時間を一斉に区切らず緩やかな枠の中で、子どもが、時間が経つのも忘れ夢中になって遊ぶ姿を目指しているのです。

「幼稚園説明会」に参加して下さった保護者の方は、オンライン参加7名を含めて計35名でした。そのうち、2歳児（令和7年度3歳児入園予定者）は、21名でした。説明会には欠席された在園児の兄弟姉妹や「未就園児遊びの会ひよこの会」に参加して下さっている2歳児を加えともう少し数が増えます。

説明会参加の保護者の皆さんが、落ち着いて聞けるようにと託児のボランティアにご協力くださいました在園児の保護者の皆様、本当にありがとうございました。皆様の温かさに心より感謝いたします。

幼児期にこそ、子どもが子どもらしく過ごせる幼稚園を目指して、多くの子どもが加納幼稚園に入園していただくことを心より願っております。

そこで、各ご家庭に2部ずつ、岐阜市立幼稚園の案内をお渡しします。もし、近隣に幼稚園入園対象の方がいらっしゃったら、岐阜市立幼稚園紹介や教育内容等のリーフレット、または、名刺大のカードをお渡しいただくと幸いに思います。温かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

親子ふれあいフェスティバル及び講演会にご参加くださりありがとうございました！

3歳児：偏光板万華鏡



4歳児：CDゴマ

4歳児：CDゴマ



5歳児：動くおもちゃ



保護者：講演会



《5月の保育目標》

- 【3歳児】○いろいろな感触を楽しんで、解放感を味わう。
○先生と一緒に自分の身の回りのことをしようとする。
- 【4歳児】○自分の思いや考えを先生や友達に伝えようとする。
○いろいろな素材に触れたり、身の回りの動植物に関心をもったりする。
- 【5歳児】○友達と同じ遊びをすることで、つながりを感じながら遊ぶ。
○いろいろな動植物に興味関心を示し、愛着をもって接する。



お知らせ・お願い

毎週、通信を配信しております。お知らせやお願いなどがたくさんありますので、スマート連絡帳やホームページ等で確認していただきますようお願いします。

☆今年度から、各自でお茶を持参することになりました。保護者の皆様にはご負担をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

☆6月12日(水)から、「プール遊び」が始まります。幼稚園のプール遊びは、他の遊びと同様に、「泳ぐこと」を目的としておりません。子どもの遊びは、「その遊び自体に目的があってはならない」というものがあります。つまり、「～ができるようになるために遊ぶわけではない」ということです。そのため、子ども達の日頃の遊びが、水遊び以外のことに強く進んでいる場合は、子どもの遊びの姿を重視し、プールに行くことをやめる場合もあります。また、天候がはっきりしない様な場合は、気持ちよくプール遊びができないことも考慮し、プールに行かない選択をすることもあります。コロナ禍以前のように、何が何でも一斉にプール遊びを強いるというものではないことをご理解ください。もちろん、「楽しく遊んでいた結果、泳げるようになった」という姿は、子どもの遊びではよくあることですので、それをしないという意味ではありませんので、ご安心ください。

☆6月には岐阜県美術館とのコラボレーション(年長児のみ)、岐南工業高等学校とのコラボレーションが(全園児)あります。岐阜県美術館の館長さん(日比野克彦氏)は、岐阜市出身の芸術家です。アートを通して豊かな感性を磨きたいと思います。また、岐南工業高等学校は、加納幼稚園PTA会長さんのおかげで繋がったものです。「ものづくり」について、6月の交流と10月の「テクノランド」を通して、遊びながら学ぶことができます。

☆10月12日(土)AM(雨天順延)に、年長児親子を対象とした「全国国公立幼稚園・こども園長会特別事業 東海北陸ブロックキャンペーン研修会 in GIFU」を開催いたします。内容は、「親子で楽しむ昆虫の世界～昆虫を通して自然を学ぼう～」です。講師として名和昆虫博物館の名和館長さんをお迎えし、ながら川ふれあいの森でフィールドワークをします。ただし、参加できるのは、加納幼稚園からは年長児親子限定10組程度であり、9月2日に文書を配信し、ロゴフォームにて先着順で受付をする予定です。昆虫好きな子ども達、今から予定に入れておいてくださいね。